

国民民主党 結党1年を迎えて

5月7日、国民民主党は結党1年を迎えました。この1年間、私たちの活動を温かく支えていただいたすべての皆さまに心より感謝申し上げます。

いまの政治は、国民生活の変化に追従できていない。

平成時代に私たちの暮らしは大きく変化しました。情報通信インフラの急拡大、格差の拡大、女性や外国人の社会参画、経済のグローバル化、人口構造の変化、そして、少子高齢化一。いずれも私たちの想像以上のスケール・スピードで起こり、日本の政治は暮らしの変化に追従できませんでした。その結果がサイバーセキュリティ犯罪や子ども・女性・高齢者の貧困、待機児童、外国人労働者の失踪や過労死、自治体の存続問題、社会保障財源不足などの社会問題として表面化しています。これらの主な原因は政治の硬直化によるものです。

国民民主党は変化を生み出す政党へ。

国民の暮らしが変化したのならば、政策も変化させなければいけません。しかし、残念ながらこの30年間の政治はごく一部の期間を除いて硬直化したままです。だからこそ、私たち自身がこれからは社会の変化を見通し、その変化を生み出すような政策を積極的に打ち出していきます。例えば茨城県では、地域住民の移動手段の確保や若者の定住促進策、ひとり暮らしの高齢者支援に必要な財源問題が深刻化しつつあります。こうした問題に対し、国民民主党は具体的な政策を示し、社会の変化を望ましい方向へ導いていきたいと思っています。

多様性と調和を重んじた連帯社会をめざす。

国民民主党は、性別、年代、国籍、学歴などの多様性を認め合い、幅広い価値観とそれらの調和を重視し、すべての人々がつながることのできる連帯社会の構築をめざします。女性か男性か、若者か高齢者か、日本人か外国人か、専攻科目や最終学歴も、すべてはその人の部分的側面でしかありません。その人を過去や属性で評価せず、学ぶ機会と活躍の場を見つける機会の確保を支援し、一人ひとりの違いを日本の強みに変えることのできる社会が、令和の時代に求められる社会像だと信じ、私たちは活動に全力を注いでまいります。

今後とも、国民民主党へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和元年 5月 7日
国民民主党茨城県総支部連合会
代表 浅野 哲